

コラム「北斗星」

喪失感

飼い猫が先日死んだ。東京に住んでいた時、近所のこうえんで産み落とされていたのを拾って19年。ここ数年は病気がちで寝ていることが多かった。覚悟はしていたが、心に穴があいたような喪失感に戸惑っている。

いわゆる「 」

なのだろう。欧米では1980年代、日本でも90年代後半から知られるようになった言葉だ。人によっては強い悲嘆により

という。

かつて犬猫は番犬にしたりネズミを捕らせたりと、使役動物の性格が強かつ

た。今は愛玩動物として飼う人が多く、
② 人が増えた。17年間飼った猫「まる」と2020年12月に死別した解剖学者の養老孟司さんは、著書「まる ありがとう」でそう指摘する。

養老さん自身、
③ という。喪失感はとても言葉で表すことができないとつづっている。

国内で飼育されている犬猫は推計約1600万匹。それだけペットロス予備群がいるともいえる。高齢の飼い主はペットへの愛着が強い傾向にあり、自身の体

力の低下が重なり重症化しやすいというから注意が必要だ。

専門家によると、重症化を防ぐにはペットが元気なうちから心構えをして、別れが訪れたら悲しみを思い切り表に出し、楽しかった日々を振り返るといいそうだ。寂しさは、幸せな時を共に過ごした証しでもある。そう考えるだけでも、気持ちが軽くなる気がする。

※【喪失感】大切なものを失った時のむなしい気持ち。

※【悲嘆】悲しみ、嘆くこと。

※【愛玩動物】身近に置いてかわいがることを目的に飼育される動物。ペット。

△秋田魁新報2025年3月29日付より。記事は手直ししています▽

1 傍線部の「こうえん」に当てはまる漢字として適切なものを、次の①～④から一つ選び、番号を書きましょう。

- ① 公園 ② 公演 ③ 好演 ④ 高遠

2 には、大切なペットを失ったときの悲しみやつらい気持ちなどを表す言葉が入ります。記事の中から5字で抜き出しましょう。

--	--	--	--	--

3 記事の中の①～③の の部分に当てはまる言葉としてふさわしいものを、それぞれ次のア～エから選び、記号を書きましょう。

ア まるに「ありがとう」と感謝する日々が続いた

①

イ 別れの際に悲しみを深めてしまう

②

ウ 不眠や摂食障害などの症状を起こすこともある

③

エ 別れから1年経ても、まるを探す癖が抜けなかった

※【摂食障害】必要な量の食事を食べられないなど、食べることに関係する病気。

出題・監修：佐藤克己(元小学校長)